

オルガン音楽で 巡る旅

～ドイツ・イタリア・フランス～

響きの良いチャペルで、毎回異なる国のオルガン音楽の歴史、文化等のお話と各国の特徴的なオルガン楽曲の演奏で楽しみながらヨーロッパを巡ります。

【講座No.2401 / 受講料無料 / 各回毎にお申込みください】

会場
名古屋キャンパス
しろとり
チャペル



林 友香 氏

第1回ドイツ 6月24日(月) 14:00～15:00

ドイツでは、中世以降沢山のパイプオルガンが建造されました。多くの教会にオルガンが建造され、沢山の作曲家が生まれました。中でも真っ先に思い浮かぶのは、ヨハン・セバスティアン・バッハではないでしょうか？今回はバッハをはじめ、彼が影響を受けた作曲家、影響を与えた作曲家達の曲をご紹介します。

講師プロフィール

名古屋学院大学、カトリック南山教会、布池教会オルガニスト、南山大学エクステンションカレッジ講師
武蔵野音楽大学オルガン科卒業、活水女子大学教会オルガニストコースにて学ぶ
秋元道雄、辻宏、椎名雄一郎、各氏に師事 日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員



有田知子 氏

第2回イタリア 7月1日(月) 14:00～15:00

今、世界は狭く、例えば今日、日本で生まれた音楽は瞬間に世界中に広がります。しかし昔はそうではありませんでした。ヨーロッパの中でも各時代、各地方特有の音楽が生まれました。そして16,17世紀、音楽においてお手本になるのはイタリアでした。かのバッハをはじめ多くの音楽家がイタリア音楽を勉強しました。そのイタリアオルガン音楽を歴史的に旅してみようと思います。

講師プロフィール

日本基督教団名古屋北教会、金城学院大学チャペルオルガニスト。同大学エクステンションプログラムオルガンクラス講師。洗足学園大学音楽学部(オルガン専攻)卒業。奥田耕天、鈴木雅明、ギョボヴェの各氏に師事。北ドイツオルガンアカデミー、スペインサラマンカ大学アカデミー、スイスロマモティエアカデミーなどで研鑽を積む。日本オルガン研究会会員



加藤麻衣子 氏

第3回フランス 7月8日(月) 14:00～15:00

太陽王ルイ14世の統治時代は「グラン・シエクル」(偉大な世紀)と呼ばれ、フランス独自の芸術が華開きました。オルガン音楽も「黄金時代」であり、繊細で優美な装飾が、荘厳な響きに鮮やかな色彩を添えています。煌びやかさの中に哀愁が香るフランス音楽の美しさを、名古屋キャンパスのオルガンとお楽しみください。

講師プロフィール

ルーテル学院中学・高等学校オルガニスト。エリザベト音楽大学演奏学科パイプオルガンコース卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修了。トゥールーズ高等芸術院にて国家演奏家の資格を得て卒業。2010年、ジャン・ルイ・フロレンツ国際オルガンコンクール優勝他多数の国際コンクールでの受賞あり。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員 ホームページ：<https://maikokato.com>

